

罷業団の現状

一 芥記のこゝろ 労働家官憲の懸念する在道と切離し来に対抗して一系此水々の陣容を以て勇敢に抗争しつつある。殊に寄附金内に閉じ込められ居る女工は飽くまで目的を徹する為めに銃束しく会社の要求に背つ居る是に對し 東京附近の徳同盟各組合に友誼団体の志援は罷業団をして懸望せしめつつある。運動男女工の銃束準備なる事は云ふ迄でもない。

二 罷業団の合計は今日近況に二千数百人の現金と多数の物資とを支出してある。各組合より流石と評言を志援あるも 救済はまだ 銃束と見なすはなりぬ。関東労働同盟会には尙相當の準備もあるが此際各組合に支那更に多く有志諸君の御寄附を仰せらる。

三 尚關東労働同盟会には 警備局長 並に検事總長等に對し 強硬なる抗議並に陳情をなし 警備局長の交指を促しつつある。

以上の如き概略を以て各組合に於て一層積極的なる志援あることを願ふ次第である。

昭和二年六月二十三日

百平労働同盟 関東労働同盟会

追々別紙の第三報は今日市内外の全紡織工場に第二報は明日罷業中の女工諸君によりて東京全市に配布すると共に同情会々寄附を志援する一事としていたるべきである。

大日本紡績争議同盟会所 東京市芝区三田四町六丁目 徳同盟 関東労働同盟会内

志援団 總本部

大日本紡績争議同盟会

大日本紡績争議同盟会